

新清水庁舎 建設検討通信



現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況について、今後定期的にお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

清水駅東口公園への移転建替え案を検証しました

1月24日(水)に第5回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催しました。

会議では、前回、委員から提案を頂いた方法での「整備方法・建設場所」の比較案を再提示し、議論を行いました。検討委員会では、市の案である清水駅東口公園への移転建て替えへの反対意見はありませんでした。

■ 庁舎の整備方法の比較検証方法

- ① 移転建替え案 (江尻エリア)
- ② 現地建替え案
- ③ 大規模改修案

3案を、右の表の視点で比較検証を実施

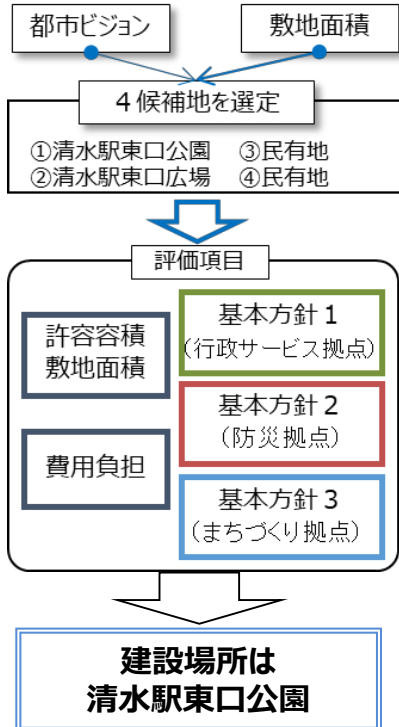
	「移転建替え」と判断した理由
まちづくり	清水都心地区のまちづくり方針に示す江尻エリア(JR清水駅周辺)に移転させることで、 ・来庁者の利便性向上 ・商業・業務の中心地としての同地区の発展が期待できること。
コスト面	・年間あたりのライフサイクルコストが最も安価である
工事中の市民サービス	・工事期間が短く、市民サービスが低下しない

第5回検討委員会資料より作成

移転建替えにより
新庁舎を整備

■ 庁舎の建設場所の比較検証方法

次の図の流れで、候補地を選定したうえで、まちづくり面、機能面、コスト面などについて評価して比較検証を実施。



	「清水駅東口公園」が最適であると判断した理由
まちづくり	清水のまちづくりに貢献すること。
建設条件	必要な敷地面積と許容容積を有していること。
コスト面	市有地を有効活用することで、新たな財政負担が生じないこと。
利便性	公共交通の利便性が高いこと。

第5回検討委員会資料より作成

清水都心地区のまちづくり方針とは？

清水都心のまちづくり方針では「江尻エリア」と「日の出エリア」を核としてまちづくりを進めようとしています。なかでも江尻エリアは、交通利便性を活かし公共施設を中心とした商業・業務の集積を図っていきます。

ライフサイクルコストとは？

庁舎の設計、建設、移転などの初期経費と、保守管理や修繕、光熱水費などの庁舎を運営する維持管理経費を合わせてそれぞれの一年あたりのコストを合計したものです。

新清水庁舎建設基本構想(案)についてのパブリックコメントを実施します。

平成30年2月13日(火)～3月14日(水)の間に行っています。

くわしくは、広報しずおか3月号と同時配布するパブリックコメントのチラシもご覧ください。